



勇気をもって 新しいことをする

生物資源産業学部 生物資源産業学科 3年

梅田 綾音 (うめだあやね)

私は、春季、夏季の2回、南イリノイ大学にオンライン留学しました。2回留学したからこそ学んだことを述べたいと思います。

初挑戦の春

初めての留学で印象に残ったことは、今までの学びが活かされたことです。私は、徳島大学生協が開設している「英語コミュニケーション講座」の受講生でした。ここでは、英語での相槌の仕方、挨拶、会話の始め方、終わり方、ジェスチャーなどを学んでいたりと、英語での反応速度を鍛えたりしていました。そのスキルを活かし、先生からの呼びかけに速く対応したり、他の生徒に積極的に話しかけたりすることができ、とても楽しいコミュニケーションをとることが出来ました。何より、英語で話すことが留学前よりも大好きになり、日常でもつい話してしまうほどになっていました。「英語が分かる、分からない」という点も大切ですが、英語は「相手とコミュニケーションをとる」という手段であることも忘れずに楽しむことも大切であると、これから挑戦する方に伝えたいです。

2回目の挑戦、夏

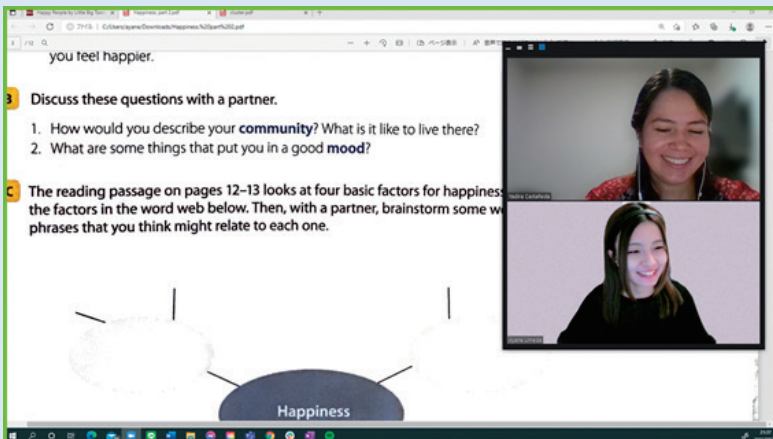
2回目の挑戦では、「勇気をもって新しいことをする」という目標のもと、「恐れずに発言すること」を実行しました。2回目の挑戦で印象に残っていることは2つあります。

1つ目は、講演会で発言できたことです。私は前回の留学で、講演会の内容についていけず悔しい思いをしたことから、2回目の挑戦で1番の目標が「講演会で発言すること」でした。そして、23時

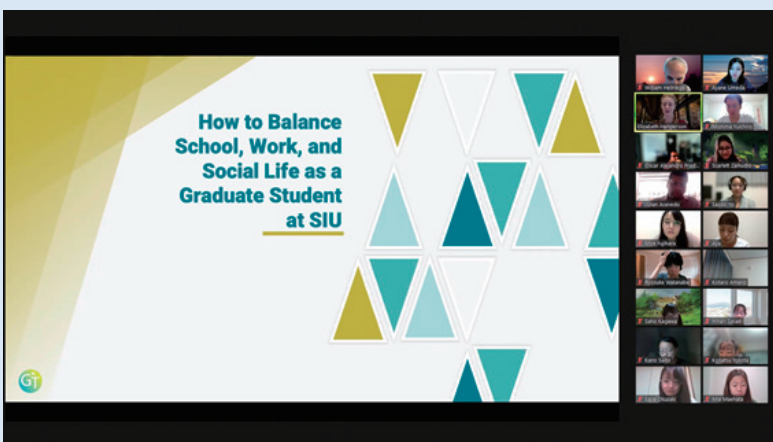
から始まる講演会。自分が理解した内容であっているのか、本当は怖かったですが、悔しい思いをしたからこそ、手を上げ、自分の意見を言うことが出来ました。この経験から、悔しいという感情、そして目標にして実行する大切さを学びました。留学を通して、悔しい思いをすることは多いですが、それを糧に変えられるチャンスは必ずあると私は思います。

で助け、感謝された経験です。海外の方から感謝される経験は今までありませんでしたし、何より、英語が苦手な私にとって、英語で人を助けられたという経験は衝撃的でした。自ら行動することで自信に変えられることを体感しました。

以上のことから、私は留学で、恐れずに行動する力を鍛えることが出来ました。英語力だけでなく、自己成長もできる場が留学です。是非挑戦してみてください。



コロンビアの方とペアワーク



講演会の様子